

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業						
事業の概要	総事業費	336,798千円			⑪補助対象事業費	297,780千円		
				⑫交付金額	99,260千円			
	整備対象地域	野迫川村全域						
	事業の内容							
<p>本村は、山村過疎の村であり、整備以前はブロードバンドゼロ市町村であり、ISDN回線を使用しなければならぬ状況であるなど都市部との情報通信格差が拡大していた。また、村全域が地上アナログ放送に難視聴地域であり、難視聴共聴施設によりテレビを視聴しているが、村の半数の地域でUHF(奈良テレビ放送、NHKのUHF)が受信できておらず、受信するためには、共聴施設の改修が必要であり、村民からCATVの要望が寄せられていた。</p> <p>そこで、情報通信格差を是正するため、村がFTTHによる光ファイバ網を整備し、その後、奈良県のIT施策の一環として県山間地域のCATV整備網のため設立された第3セクターである「こまどりケーブル株式会社」へIRU契約により施設を貸し出し、地上デジタル放送・BS・CSデジタル放送の再送信に加え、ケーブルインターネット、IP電話サービスを行うとともに定点カメラを設置して、村内の連絡システム(地域防災情報システム)を構築した。</p> <p>また本村において、村役場の所在地である北股地区、診療所がある野川地区、観光地である北今西地区では、携帯電話が通話可能であったが、その他の地区(今井地区、池津川地区、平地区、大股地区、檜股地区、弓手原地区、立里地区)においては、携帯電話が使えない不感地区となっていた。携帯電話は、事故・事件等の不測の事態における緊急連絡手段となるなど、地域の安全・安心を確保するという側面もあり、当該地区の住民からは日常生活への支障や防災面を理由に不感地区解消の要望が強く寄せられていた。</p> <p>そこで、当該地区の情報通信格差を是正するため、村が携帯電話用伝送路施設を整備し、当該エリアで携帯電話サービスを展開することが可能であるソフトバンクモバイル株式会社に施設を貸し出し、当該地区において携帯電話サービスを行った。</p>								
BB	サービス開始日	平成22年12月1日						
	サービス形態	公設民営(IRU)						
	契約先	こまどりケーブル株式会社						
		⑲整備計画時の目標		⑳実績				
		初年度	最終	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数	285	285	261	261	261	248	249
	加入世帯数	175	200	76	75	113	117	139
加入率(%)	62.5	70.1	29%	29%	43%	47%	56%	
CATV	サービス開始日	平成22年12月1日						
	サービス形態	公設民営(IRU)						
	契約先	こまどりケーブル株式会社						
		整備計画時の目標		実績				
		初年度	最終	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数	285	285	261	261	261	248	249
	加入世帯数	285	285	261	261	261	248	249
加入率(%)	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	
評価及び課題	<p>CATVについては、加入率の目標を達成したが、BBについては、事業開始5年経った現在において、未だ加入率の目標を達成できていない状況である。これは、村の高齢化が進み、インターネットを利用する世帯が減少してきていることが原因であると考えられる。しかし、3年程前より高齢者世帯に対し、インターネット回線を使用した見守りサービスを展開するなど、加入者増加を図っている。今後もインターネットを使ったサービス提供を考え、加入率増加を図る。</p>							